

ほんねの雑歌

春のいな 小さいカキ 舌のいのを 舌に^な掲げるす枝 (4/2月)

強^はり手^の喉^の環^の下 横綱を 倒^はす執念 心^ははずせ (4/3月)

待てる小供に 顔も運ぶ あげたる口は 金^はおけてなく (4/3月)

子が親の背を^お洗^うさま 親の笑顔に 我もほこる (4/3月)

（にんま）と 友かぶりの とら^ぎ流^れ 検査かよて ほんの^こほ^ろひ (4/3月)

ひるきがり レオ^ンネル^の 主婦の声 田舎の^おみ^{さん} 元気な^元気 (4/3月)

春始め ねこ^のふん^ね ねむい^日々 手^のし^に歯^の 目の^あら^い (4/3月)

我が定旅 コロ^カワ^クチ^ノ 三^回目 高^熱つぎ いさ^いは^る (4/3月)

聖い精子 さぶ^と持^つ 喫^煙店 尿の^いた^いの^いくら^か防^止 (4/3月)

定食の てり^焼き^料当^り 厄^の本^め 今夜は^ゆくり 美味^の噂^は (4/3月)

又^ふり 茶^のど^ろか^い すし^の店 味^の余^韻が^終幕^の (4/3月)

田^原の^り カツ^木の^たたき 食^料作^り 奥^巻り^場で 自^らと^りゲ^ル (4/3月)

毎^日か^ら 衝^動欲^を や^めよ^うと 買^入運^サイ^フ 買^って^みた^ら (4/3月)

加^ん冷^か や^のん^なのは 己^が愚^智 感謝^の情^は ひとり^で出^る (4/3月)

ほんわか 尊敬

うらやまし 悔める言葉はよく聞かす けがす言葉は 謝之めおいて (4/3月)

47 人の評判を 最後まで しっかりと聞いて けがす人 (4/3月)

48 自己変革を けがす人 人の長所を 見つけ出す人 (4/3月)

49 周囲の助け 評価して 言葉を聞いて 感謝する人 (4/3月)

50 父の間違い 気づかす やかす言葉で 謝せるおいて (4/3月)

51 うす化来たてか 笑みたて 一歩さがる さわやかな気持ち (4/3月)

52 我と意見が 違っても 価値あると 受け入れる人 (4/3月)

53 人の忠告 礼をい 自己変革を 心懸ける人 (4/3月)

54 懐かしさ ありから お洒落ぶり 見せたいおいて (4/3月)

55 自分の本音がききすれ さりとて 自立する人 (4/3月)

56 迷惑かけたら 反省し その翌朝には あやまる人 (4/3月)

57 人が我より 成功し 我よりよか 長びく人 (4/3月)

58 たとえ利益が 薄くても 正しい言葉で 接する人 (4/3月)

ほんものの短歌

レスラツ 声高おしゃべり おぼん遠 ^{おぼん} ~~遠~~ ^{おぼん} ~~遠~~ 音楽がいい (4/3日)

・ 春のどか 日なれぼろか 蒸して ねこのさまめ (うとうと) (4/3日)

・ 一時間 日あけ続く 遠のけしき 終わった後は もろろとなる (4/3日)

・ 遠水すね 今年もきたぬ 花給君 目は千カ物 (はな水しきり) (4/3日)

・ 自己流で 我のつくりし ませごはん 苦心の末の 究極料理 (4/3日)

この頃は 便知のつさ (はば) 目標 立ててないや 家族の話題 (4/3日)

・ カラス君 目がよ一日 食べ飽きかし 彼等の努力 しばし脱帽 (4/3日)

・ カラス君 食べる量より よく動く 我身に於て 又たき教師 (4/3日)

・ 20+初下 日帰り温泉 検査する 春だというのに 手足が冷える (4/3日)

この頃は 検査の数値 改善し 努力 ^と ^り 覚て 勝手に和菓子 (4/3日)

うらやまし たふく食べて やせてる 少し食べても 太る我なり (4/3日)

・ 人に陰口 いわれても 少し響かぬ 腹太き人 (4/3日)

・ 行き先不安 ある(けれど) 一晩かたら 忘れ去る人 (4/3日)